

# TOKAI

東海防衛だより

2022  
令和4年

秋



(木曾川扶桑緑地公園付近)

## 秋号の主な内容

- ◆ 周辺対策事業の紹介(各務原市道蘇北390号線)
- ◆ 愛三岐の街から(扶桑町)
- ◆ 東海三県の防衛生産・技術基盤  
(川崎重工業(株)岐阜工場)
- ◆ 日豪空中給油適合性確認試験
- ◆ 東海防衛支局所属職員の一部隊等研修
- ◆ 自衛官募集案内



## 各務原市道蘇北390号線道路改良舗装事業

岐阜飛行場  
周辺

本事業は、岐阜県各務原市に所在する航空自衛隊岐阜基地を離着陸する航空機の飛行等による万一の事故に際する緊急避難・消防救難活動道路として、各務原市が管理する市道蘇北390号線の道路改良舗装事業（自転車・歩行者道設置を含む。）です。

平成28年度から令和3年度までに事業費約4億9千万円に対し、国は道路改修等事業費補助金として約3億4千万円（補助率10分の7）の交付を行い、令和3年11月に完成しました。

本路線は、同基地の北方約2キロメートルの各務原市蘇原瑞穂町から蘇原大島町内に位置し、本事業では、車道幅員を約4メートルから6メートルに拡幅し、更に道路の片側には自転車・歩行者道を設けるなど、延長約500メートルにわたり整備しました。

これにより、同市中心部から県道長森・各務原線を経由して岐阜市及び関市方面への補完的な経路として、重要な交通網の一部となりました。

さらには、近隣の商業施設への経路としても、多くの車両や自転車・歩行者の安全で円滑な通行を促す道路となりました。



### 【各務原市担当者の声】

この市道は主要な道路にも関わらず狭隘で歩道がなく車両のすれ違いが困難であり、歩行者の安全確保についても課題がありました。また、緊急避難や消防救難活動のための道路の整備が強く望まれていました。

今回の道路整備により、緊急避難や消防救難活動が困難であることが解消されるとともに、歩行者や自転車の安全も確保されました。周辺住民の方からは、「緊急車両が通りやすくなった」、「歩道が整備され安全に歩けるようになった」などの喜びの声が聞かれました。



【改修後】



【改修前】



【改修後】



【改修前】

防衛施設周辺対策事業とは、自衛隊等の行為または防衛施設設置若しくは運用により生ずる障害を防止または軽減するため地方公共団体などが行う施設の整備などに対して行う補助事業です。

「愛三岐の街から」



愛知県

扶桑町  
ふそう



鯖瀬武 扶桑町長

【扶桑町制施行70周年】

扶桑町は愛知県の北西部に位置し、総面積11・19平方キロメートル、濃尾平野の一部をなしている田園地帯です。特産物はギネス世界記録にも認定された守口大根。江戸時代に中国から伝わり、漬物として大名に献上されていたとされています。特徴はとても細長い形状で、通常サイズでも長さは1・2メートル、直径2・3センチメートルに成長し、長いものは1・8メートル以上もあります。当町では平成25年に守口大根が「世界一長い大根」として認定を受けるためのイベントを開催。191・7センチメートルの大根が世界一長い大根としてギネス世界記録に認定されました。



特産物守口大根



町の花 ひまわり

扶桑町は昭和27年8月1日に町制施行し、本年で70周年を迎えました。木曾川の清流や豊かな自然に恵まれ、町名にもあるようにかつては養蚕で栄え桑園が多くみられました。名古屋都市圏への交通アクセスが良く、身近に自然があるちょうどいい町として発展し、今では住みやすいまちランキングの上位に選ばれています。

70周年記念事業のキャッチフレーズである「愛編む扶桑、このまちが好き」は応募総数327件の中から選出。「am」と「愛編む」を掛けことばにし、「私は扶桑です、私がいる場所、暮らす場所、生きている場所、支えられている場所」で「このまちに支えられている、だから関心を持ち、好きになってもらおう」という願いが込められています。さらにタウンプロモーションムービーを作成するなど、皆さんに親しんでいただけるよう工夫を凝らしております。

70周年記念事業メインイベントとして、10月29日(土)に「Parade & Kitchen in Fuso 70th」を町内大型ショッピングモール内で実施し、マーチングバンドで世界的に有名な京都橘高校を招聘し、盛大なパレードを実施します。また県内外で人気の高いキッチンカーを35台ほど配置するなど、音楽や食を通じた賑わい空間の創出、皆で扶桑町をお祝いします。

【自衛隊との関わり】

当町の北部では自衛隊航空機の飛行を見ることができ、住民に開かれた自衛隊基地として益踊りや航空ショーなどのイベントが開催されており、身近な存在となっています。今後も様々な機会を通して町民に情報をご提供いただき、自衛隊の活動への理解が深まることを願っております。

東海三県の防衛生産・技術基盤  
防衛装備品関連企業紹介  
川崎重工業(株) 岐阜工場

東海防衛支局では、防衛省・自衛隊が使用する装備品の調達に当たり、品質管理に精通した検査官により、厳格な監督・検査業務を実施しています。

このコーナーでは、我が国の防衛力を支える、重要かつ不可欠な要素である防衛生産・技術基盤として貢献している製造会社を紹介します。

航空優勢の確保への貢献

川崎重工業株式会社岐阜工場（以下「KHⅠ」という。）は、各自衛隊の主力航空機であるCH-47J/JA、P-1、C-2などの製造・修理を手掛けるとともに、中距離多目的誘導弾などの誘導武器の製造・修理も手掛けています。

特に目を見張るものとしては、防衛計画の大綱に「必要な部隊を迅速に機動・展開させ、航空優勢を確保しつつ、侵攻部隊の接近を阻止する」ことが規定されており、KHⅠの保有する技術力がこの能力向上に大きく貢献しているところです。

空対空用小型標的の概要

防衛省では、脅威国の戦闘機や爆撃機などから我が国を守るための訓練の一つとして、標的機を自動飛行

させて射撃する訓練を行っています。

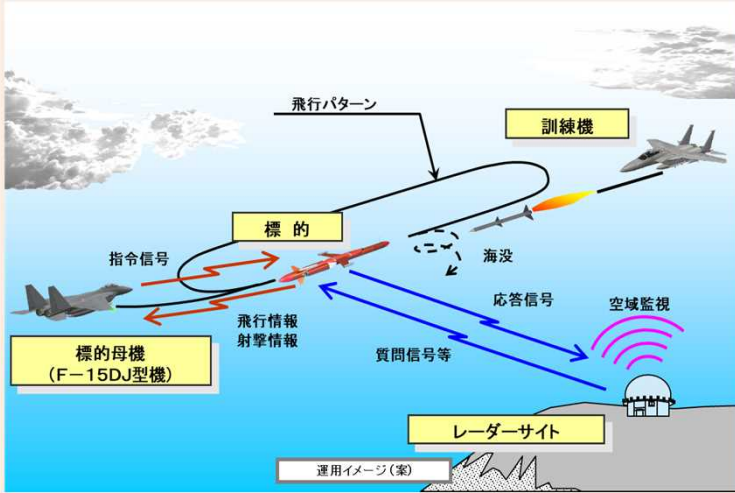
これまでの標的機は大型で高価なものが多く、年々部隊訓練予算が削減されており、十分な標的機の確保ができず、射撃訓練の機会を確保することが難しい状況になってきました。

このような状況から、防衛省では小型標的機の開発において、「射撃訓練に必要な機能・性能を満足しつつ、従来の標的機に比べて大幅な低コスト化を達成する」ことを要求しました。

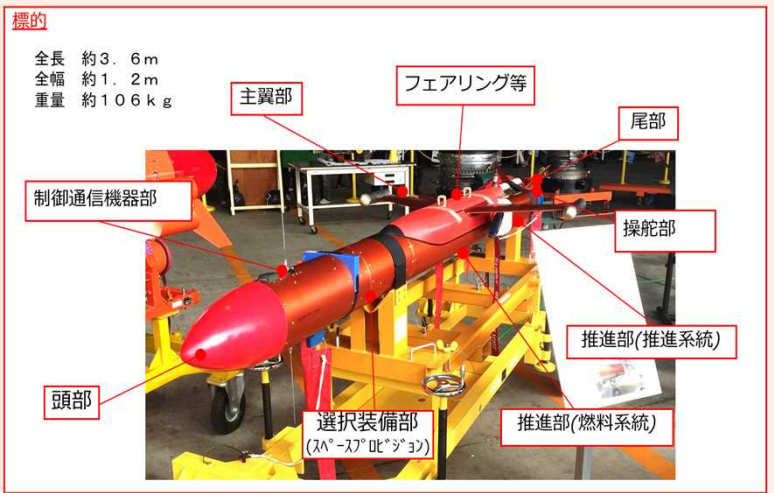
これを達成するためKHⅠでは、標的機が無人機であり使用時間の短い使い捨て運用である点に注目し、保有する独自技術を軸に構造の「簡素化」と「統合化」による低コスト化を図った「空対空用小型標的」を開発し製造しています。

これにより射撃訓練の機会が確保でき、パイロットの練度維持が可能となることで航空優勢の確保能力の向上に貢献しています。

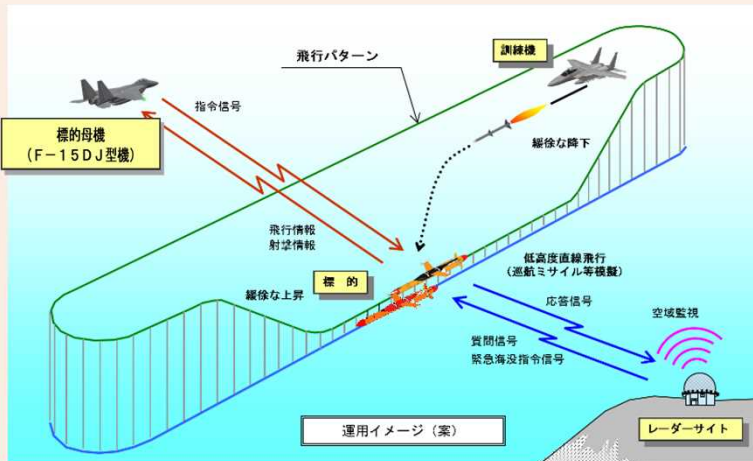
空対空用小型標的は、標的母機（F-15）に搭載し、各種空対空誘導弾の射撃訓練のために使用するものです。



空対空用小型標的の運用概要（KHⅠより）



空対空用小型標的（KHⅠより）



空対空用小型標的（巡航ミサイル模擬）運用概要（KHⅠより）

派生型への対応

KHⅠでは、空対空用小型標的の派生型として、当該小型標的に巡航ミサイルの軌道を模擬させ、赤外線誘導又はレーザー誘導方式の空対空ミサイルの試験及び訓練に使用するための「空対空用小型標的（巡航ミサイル模擬）」へと改修する契約を、平成27年度から防衛省と締結しています。空対空用小型標的の既存機能からの変更点は、

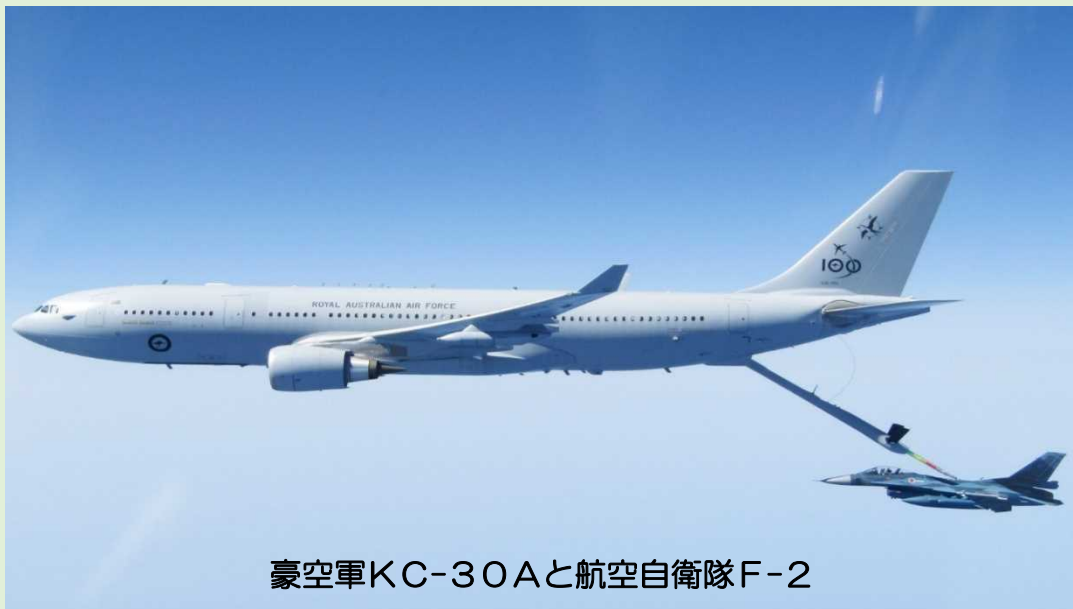
- 一 低高度飛行機能の追加
- 二 低高度射撃評価機能の追加
- 三 レーダー反射増幅機能の削除

の3点となります。

空対空用小型標的（巡航ミサイル模擬）も航空優勢の確保能力の向上に必要なものであり、空対空用小型標的と同様、標的母機（F-15）から発進してプログラム自立飛行を行います。

# 日豪空中給油適合性確認試験

令和4年4月4日から27日までの間、航空自衛隊の戦闘機F-2と豪空軍空中給油機KC-30Aは、日本海上及び



豪空軍KC-30Aと航空自衛隊F-2

太平洋上の訓練空域において空中給油の適合性を確認する試験を行いました。

適合性確認試験は、日豪の航空機間において空中給油を行う場合の技術的な適合性を確認するものであり、将来、自衛隊の戦術技量の向上と豪軍との連携強化の一環として空中給油訓練を実施するために必要なものです。航空自衛隊からは岐阜基地飛行開発実験団のF-2が参加し、豪空軍からはKC-30Aが航空自衛隊小牧基地に拠点を置き、本試験に参加しました。

今後、必要な処置を経て、KC-30Aから空中給油を受けることが可能となります。

空中給油は、航空自衛隊の戦闘機の運用において非常に重要な機能であり、日豪の相互運用性を大きく向上させるものです。

豪空軍の小牧基地到着時の様子



防衛省・自衛隊としましては、引き続き、こうした取り組みを通じて、日豪関係の強化及び「自由で開かれたインド太平洋」の維持・強化に貢献してまいります。

〈掲載写真は、航空自衛隊HPから〉

## 防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレム



防衛省・自衛隊は、安全保障政策への理解促進や危機管理対応、地域の皆様の生活環境改善などを目指し、「地域社会との協力に係る施策」に日々積極的に取り組んでいます。

この取り組みについて、より国民の皆様にご理解いただくための、防衛省と地域社会との協力を象徴するエンブレムです。

今後、防衛省の補助事業で整備した施設等への標示をはじめ、各種イベントのパンフレットや広告での使用など、防衛省全体として、幅広く活用してまいります。

### ◎コンセプト

背景に握手のデザイン、前面に人と人が手を取り合うデザイン、そして緑色の色調により、防衛省が国民の皆様のご理解とご協力のもと施策に全力で取り組んでいく意思を表しています。

東海防衛支局所属職員  
の部隊等研修  
航空自衛隊岐阜基地  
所在部隊  
川崎重工業(株)岐阜工場



礼式教育

令和4年6月14日、東海防衛支局は、本年度採用者4名及び入省3年以内の職員5名、計9名を対象に、部隊の任務に対する理解の向上と部隊の運用上における地方防衛局業務の必要性を認識させるとともに、部隊勤務者の勤務状況などを学び、自衛隊員としての意識の涵養を図ることを目的として、部隊等研修を実施しました。

研修生は部隊等研修に先立ち、本多総合調整官(三等陸佐)の指導の下、部隊への訪問時に必要な自衛隊の礼式及びマナーなどについて学び、基礎的な動作の体得に努めたところです。



第2補給処

当日は、最初に航空自衛隊岐阜基地に所在する第2補給処、第4高射群、岐阜管制隊、飛行開発実験団のご支援をいただき、航空機運用に必要な部品などの維持管理、地对空ミサイルによる各種有事への対処、飛行場を離発着する航空機の安全を確保する航空交通管制、航空装備品の実用性を確認するための試験や試験飛行操縦士の教育といった様々な任務について学びました。

また、第2補給処での研修では、研修生の田中事務官から、部隊が安定的に運用していくためには、地域社会の理解と協力が不可欠であるとの認識の下、防衛施設周辺対策事業が果たす役割について発表を行い、樋口総務課長(二等空佐)をはじめ部隊担当者との意見交換も行ったところです。

昼食は岐阜基地隊員食堂において部隊の隊員と同じ食事を喫食し、隊員の生活環境を体験しました。

その後は川崎重工業(株)岐阜工場のご支援をいただき、同社の防衛産業の歴史を学ぶとともに、工場を見学し航空機の生産・整備の過程における監督・検査業務の重要性について学びました。



飛行開発実験団

昨今のコロナ禍により、部隊等の研修に初めて参加した研修生は、担当者の説明を熱心に聴講し、部隊の任務について理解することに努め、部隊の安定的な運用に地方防衛局が果たす役割などについて認識を深めました。

今後、部隊と連携を図り、地域社会の皆様のご理解とご協力をいただきながら、業務に取り組んで参ります。



第4高射群

お忙しい中ご支援をいただきました航空自衛隊岐阜基地及び川崎重工業(株)岐阜工場の皆様には心から感謝申し上げます。



川崎重工業(株)岐阜工場

# 自衛官募集

自衛隊は自律した「ひとつの社会」。  
「あらゆる仕事」があるんです。



ドッグハンドラー



基地警備



航空管制



乗組員



警戒管制



通信



ドライバー



重機  
オペレーター



パイロット



航空機整備



防衛駐在官

どんな時も自分たちで  
任務を完遂できるよう、  
あらゆる仕事があります！



広報



人事



法務



調理



気象



歌唱



音楽演奏



救難



心理



経理



犯罪捜査



偵察



化学



臨床検査技師



消防



整備



システム開発

希望と適性に基づく、あなたの能力を活かせる仕事にきっと巡り合えます。

自衛官募集

検索



<https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/>



☆『令和4年度自衛官等採用案内』

<https://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/new/img/index/topics/r4nittei.pdf>

詳しくは、最寄りの地方協力本部までお問い合わせください。



## 自衛隊地方協力本部からのお知らせ

地方協力本部（地本）は、各都道府県にある自衛隊の総合窓口です。

愛知地方協力本部

(電話) 052-331-6266

<https://www.mod.go.jp/pco/aichi/>



- 「自衛隊 広報ROOM」(名古屋市中村区椿町21-2 第3太閤ビル1階)  
自衛隊の写真パネルや模型、実物大の装備品などを展示している楽しめるスポットです。自衛隊グッズがゲットできるイベントDAYもありますので、ぜひ遊びに来てください！

岐阜地方協力本部

(電話) 058-232-3127

<https://www.mod.go.jp/pco/gifu/>



- 自衛隊広報センター「自衛館」(岐阜市神田町9-4 KJビル2F)  
自衛隊のパネルや装備品の模型などを展示しています。また、7月12日からF4ファントムの模擬コクピットを展示中です。ぜひファントムのコクピットに触れて下さい。

三重地方協力本部

(電話) 059-225-0531

<https://www.mod.go.jp/pco/mie/>



- 各種イベントや自衛隊に関する情報を紹介！  
左記アドレスのHPで各種イベントやZOOMによる自衛隊説明会の案内等を行っています。また、本部ご来訪時には、レアなグッズが手に入るかも？!

### 自衛官候補生について

応募資格	受付期間	試験期日	合格発表
18歳以上33歳未満の者	年間を通じて行っています。	受付時にお知らせします。	合格発表時期は試験時にお知らせします。

## レーザー光線の航空機への照射は**犯罪**です。

飛行中の航空機に対してレーザー光線を照射するという事案 **※威力業務妨害罪で逮捕例があります。**が発生しています。

墜落等による大惨事をもたらしかねない大変危険で悪質な犯罪ですので**決して行わないで下さい。**

照射している人を見かけた方は**110番通報**をお願いします。



■レーザー光線による操縦士への影響（イメージ）

防衛省ホームページ

[https://www.mod.go.jp/j/info/pdf/links\\_laser.pdf](https://www.mod.go.jp/j/info/pdf/links_laser.pdf)

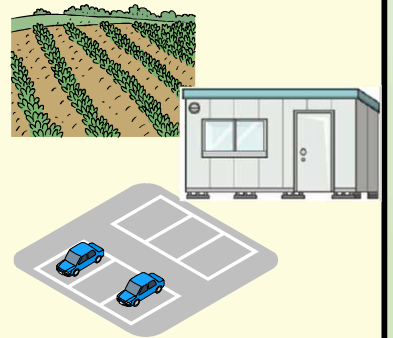


## 周辺財産（移転補償跡地）の有償使用のご案内

航空自衛隊岐阜基地（岐阜飛行場。各務原市）周辺の防衛省所有の土地について、有償による貸付（使用許可）を行っております。

駐車場や物置、畑などの利用や、プレハブなど簡易な建物（住居としては使用できません。）も設置することができます。

対象となる土地や利用の流れなど、詳細は東海防衛支局のホームページをご覧ください。下記までお気軽にお問い合わせ下さい。



東海防衛支局ホームページ：「基地周辺住民の皆様へ」

<https://www.mod.go.jp/rdb/tokai/oshirase/R3siyoukyokagoannai.pdf>

お問合せ先：東海防衛支局 施設補償管理課 052-952-8224



## 東海防衛支局長着任紹介



東海防衛支局長  
宮原 賢治

令和4年8月1日付

本年8月1日付で東海防衛支局長を拝命した宮原です。

当支局が管轄する東海3県には、多くの重要な防衛施設や防衛生産・技術基盤が所在しています。

我が国を取り巻く安全保障環境が厳しさを増す中、自衛隊の活動の基盤を支えるこの地域の重要性は、益々大きくなっています。自衛隊が安定的に活動するためには、地域の皆様と真摯に向き合い、ご理解とご協力をいただくことが大変重要であると考えています。

今後とも、支局一丸となって業務に取り組んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

発行：東海防衛支局広報誌編集委員会

〒460-0001

愛知県名古屋市中区三の丸2-2-1 名古屋合同庁舎第1号館 電話052-952-8212

2022年（令和4年）秋号（通巻第52号）

<https://www.mod.go.jp/rdb/tokai/>

